

# 磐城立憲新報

發行所 磐城郡石城町新報社  
電話二七二番  
小名宗雄

鈴木ハキ物店 坂田藤助  
大谷 久藏 佐藤鐵工所  
小名宗雄

佐川洋服店  
本 營業部  
電話八四〇番

阿部材木店  
電話八四〇番

強口唯七郎

赤羽鐵太郎

中川製材所 玉川屋酒店 松崎長三郎  
諸橋カク 米商松本正夫 宮子亭 住吉屋本店 新若米竹

## 帝國現政治修羅場の彼方へ...

### 先づ普選町村會議員の良選より

#### 地方目下の大衆運動として 全國町村政治の樹立を期せ

出でよ!! 町村擁護の新政治家よ!!

今日吾人は帝國議會の我る惡魔の跳躍に掩はれたる何等かの決意と省察を要す  
の國有史以來に見ざる混亂や? 此の時に方りて、本時代の革命の界端に佇つて  
修羅八荒の光景を目して本縣人は河野磐州より超越凌る境である。吾人は此れ  
邦政黨の壞滅期を嘆き、同慘の闘士を急望する秋! 以上今多く語るを欲しない  
時に日本立憲政治の汚點にあらねばならぬ。而して今 吾人は、選挙する愚の甚  
哭き齊しく彼等代議士の無や帝國議會の暴動的暴中に帝國現政治に對して慷慨の  
人道に其の罪を歸して悲憤於て本縣人のみならず、全極漢漢々が先きであり、一  
痛慨し、將に昭和政體を國の憂士に政治運動者方其の窮餘昭和現政府に或る  
把持する苦悶の究極! に於て一齊に躍起せよ! 然と肉と一種のレボリューションの  
吾人は必ずしも過去の自金と權力の血闘場に等しき學に出づる過まりを慎める  
由民權樹立運動時代に想及國民の議會と其の亦代議士からである、  
すも所なきが! 即ち明治政治が闘争の輩に似たる者多き 嗚呼!  
吾人は、先づ以て帝國議  
界は、幾多本縣志士の犠牲 彼等に依る大日本の政治は 吾人の大暗黒時代の批判に慨  
化に據つて其の尊き運動と是れ白刃尖頭の輕業に擬す 村新興政治人の選挙に方り  
欲求を續け竟に近代日本人 危機を奈何せん! 嗚呼昭和 徒らに町村改造政治家の待  
の政治的思想及び實行を期 慨世の大政治家出でよ! 殺割期の状勢を云々するよ  
したのである、而して昭和 國民衆の汎政治的運動を起りも吾人郷土の現實生活現  
政界は、名狀すべからざるせよ! 従つて現在の四百有 在政治を決するの急務で  
惨狀を全國國民の見るに會し 餘代議士に對する絶望を知らう。即ち今春五月中に  
て、日本の世界に誇るところのものであつて猶現實の吾於て、本郡町村會議員普選  
の純正政治の行使は何た人は政治此れ意味に於て第一回の大試練の好機に介

して井も吾人は各自足下の  
政治の善果を作り且つ其等  
議員の精選を行はなければ  
ならぬ。町村の政治はたと  
へ少なりと雖も帝國現政の  
淨化を創造する大切な基礎  
である、故に吾人は從來に  
見る町村議員の概して無能  
低劣野卑を排擠して勤く  
町村復興の精神に富める町  
村擁護の誠意に充ちる、町  
村顯揚の熱烈を有つ人々を  
各自町村に選ばなければな  
らぬ。何んぞ郷土政治、郷  
土意識の有たぬ町村會議員  
を吾人は、選挙する愚の甚  
だしきと無明なるを知らな  
ければならぬ。然れば吾  
人の來るべき該選挙に際し  
ては各自町村青年、有志、  
在郷軍人團等に於て其れに  
補すべき士を慎重に豫選し  
而して猶其の運動を後援、  
監視して正義の下に審判當  
選を期せしめよ。徒らに町  
村新興政治人の選挙に方り  
徒らに町村改造政治家の待  
望を執行するに於ては、必  
之に盡力されたく望む。  
而して吾人は如何なる議員  
を選ぶべきか等の陳腐な條  
件を羅列するよりか、先づ

政治は郷土人全體の運動に  
俟つものなれば、學者も、  
實業家も、商人も工場人も  
教師も新聞記者も、辯護士  
も請負師も炭礦労働人も一  
切の階級より輩出して可な  
るべきだ。  
因みに吾人は、本論の結  
論にかへて、現平町より今  
期の町會議員改選には、如  
何なる人物を要するかを  
茲に試に公平を以て記せば  
大凡そ次の通り。欲してや  
まない。  
但し(順序不同)  
諸橋元三郎  
酒井 猶次  
河田 梅吉  
佐々木 健一郎  
多田井 笑次郎  
三井 富吉  
高橋 龜松  
大和田 豊吉  
大和田 與平  
佐藤 武之  
瀧澤 俊平  
山崎 清三  
諸根 樟一  
藤沼 平次郎  
梅崎 安由  
榎 波 桓  
難 波 陸  
猪狩 菊三郎  
最上 龜太郎  
草野 七五三之助  
阿部 治作  
柴田 徳二  
江口 忠一  
山野邊 義政  
野崎 滿藏  
吉田 五平  
吉田 廣三郎

#### 平陽女學校 酒井女史銅像 建設の準備なる

現今地方教育會の隆盛發展  
は國家の爲誠慶賀の至りて  
ある、而して本縣の私學界  
に於ける女子教育は益々旺  
に於ける女子教育は益々旺  
に於ける女子教育は益々旺  
に於ける女子教育は益々旺

#### 大平又一

土木建築請負業  
山田 村

#### 菊地壽七

木炭輸出商  
川前 村

#### 生徒募集

四月四日午前十時入學式舉行  
學則請求ノ方ハ郵券二錢封入ノ事  
平 町  
文部大臣認可 平陽女學校  
(電話四五番)

#### 産婆看護婦生徒募集

申込期間四月八日迄  
平産婆看護婦會  
平町南側(電話三〇七番)  
清野 キヨ

#### 生徒募集

一、本 科 五十名  
一、師範科 五十名  
一、裁縫專修科 百名  
一、專攻科 二十名  
文部大臣認可 藤田女學校  
願書提出三月三十日マデ 詳細ハ本校宛學則請求ノ事

# 早春に躍奮する人々

## 事業界實業界町政界等に

### 勇飛する人々の短評 (其二)

城山 眺 觀 生

昭和戊辰も一轉して茲に復て收與しなければ現實を費あり破船の斷末を見る、然  
 た己巳の年が回展した、さし得ない、此等間斷なき生るに次に列評する我が郷土  
 れど社會の情勢は徒らに「活上の悲劇發生の舞臺に」人物は孰れも人生の優越  
 不景氣「てふ萬人響語に盡行して毎に吾人は系類を糊者であり、生活の勝利者で  
 きて爾後の時代は如何なる口する爲の明日の政界を空ある、仍つて城山眺觀生は  
 現象を見るかは想像するに極しなれば生き得られぬ禿筆を弄して此等の人物を  
 至難である。斯る明暗の地。かゝる人生の深淵に漂記したが若し其の論の當  
 平界に吾人は今や平乎と泊して居る中に其の游航の否は我が二十萬の石城民衆  
 て生活してをるされども人方向を一朝間違ふことに至る自由な笑蔑に委す  
 間須らく鬪争の獲得に依つれば、其處に奈落の窮海が

### 徳の人力の人財の人

#### 實業家諸橋守次氏

今春の本縣貴族院議員候補なる貴、衆議員の戴冠を  
 看物色の時、先づ其の白羽希望するに非ず、單なる特  
 の矢を立つたのは平町の諸權者の威勢を地方民衆  
 橋久太郎翁としたが、現境の上に見ゆるを欲せず氏の  
 病弱の理由を以て此の期待 國家社會に求むる者は政界  
 が外されたのに對し、然らば純和と大衆生活の安定等  
 ば翁の長子守次氏の出馬はを最大の問題となし、而し  
 如何と専ら擁立を懇望され所謂資本家なるもの、社  
 たる程の人物である、本縣長 曾民衆に對する模範行爲を  
 者議員の所謂財閥家といへ常に顯ひをり、則ち日本數  
 る者の無能無爲の輩多く徒千年來の史的に遵倣する、  
 らに納税の超大を以て國家資本の善大化をさげび家  
 に盡献する第一階級と自族主義の古法に則る社會政  
 っ待してをる、彼等特權策を欲建する理想に燃ゆる  
 者の中に磐城大富豪の守次人である。故に守次氏の此  
 氏こそ、將來の本縣長者議  
 員の新人として頭角を東北  
 政界に出づること近きにあり  
 と。實に守次氏の全性格は常磐線平に於ける杏林界中

### 鐵道省請負

#### 丹野幹之丞氏

等信念の半面には、他の金  
 持に見られざる即ち地方的  
 救濟並に寄附等客みなく致請負者、全國に幾千人なる  
 し或は郷土の歴史偉人先輩を知らず、所謂請負師なる  
 の顯彰を講じ延いては本縣 者の性格は昔日の大親分氣  
 政黨政治を隠然論じて何等 質でなければ、乾分兒分を  
 かの遠大的刷新を計つてを 統御して現代文明進歩の  
 る氏を知らずや?  
 冀ば、諸橋守次氏の一 なるに、世の一般請負師は  
 も早く新陸奥の民衆生活 漸次墮落して輩下を虐使し  
 へ更改の政黨政治界へ而し 然も工業技術に通せず、  
 て其の社會文明へ!從來的 は諸材料代を仕拂ざる者又  
 世の因果金持流の鎧をカナ は妾を數人蓄いて肝心の事  
 グリ棄て、即ち没入道の多 業方面はダシに請負する人  
 い金持への覺醒の先驅者ど の多き状態なるに丹野氏  
 なり、超出されんことを本 中町の猪狩氏と其の人望  
 縣地方民は等しく氏に望む 性信用の點に於て民衆より  
 ところに對する、 大いに讃へられ且つ乾分輩

### 平町收入役 大河原金之助氏

平市制實施將に爛熱の域將の下に弱卒なしの警あり  
 に進み其の前に於ける、當伏見町長の下に配するに  
 町政の幾多問題は着々とし 大河原氏の如き至實の公吏  
 て解決しをる時、茲に平政あることは、平町の榮譽と  
 應々當役場の吏員中、十年 しなければならぬ。さなき  
 一日の如く精勵し然も其の だに社會一般の地方自治役  
 職務振りたるや公正にして 場には往々公金收入上に就  
 統一せる處理の第一人者 して種々瀆職の沙汰を醸因す  
 實に大河原氏とす氏は數十 事項發生せざるを得ざる  
 年平町に格勤し最も町治に にかはらず大河原氏の如  
 盡力して倦むことなく孜々 には、至誠以て常に難治の  
 汲々町長を補佐し町議を誘 所に在りて其の天務を完  
 夜し吏員間を緩和さして萬 些の缺點不正の噂さだ  
 事長老の發揮をなす誠心 になさば何たる町治の功  
 誠意上下の間に在りて執務 者であり此の一例に見て吾  
 せられてをるは何たる正々 平人は氏に最大の敬意を  
 義の持主であらう。古來名 表してやまぬ。

### 武藏鐵工所主

#### 遠山稻吉氏

大正年間中、彼の歐洲大戰好況時代に於いて全國の工  
 業及び一般の事業家といへ 氣と同じく勢も變らず營  
 業を續けてをるの、并も 先生となす。一般の齒科醫  
 何を物語るのであらう。 實は多く人格低劣の者あるに  
 に遠山氏は不斷の努力に 加はらず、佐藤先生は斯  
 る手腕は斯界専門家の等 したるばかりに非ず、先生  
 店以外に支店並に出張所 として文化高唱者として既  
 各地に散在し、且つ其等 のに主きを置かれる新人であ  
 製作能力は偉大に有して 常磐線地方大平町を中  
 心として鐵工業の工場を 建てて地方社會に本縣當局  
 對して先生は營雪會なる もの起し、佩々譯々の論陳  
 者一齊に斃死終熄して昔 場あり。と民衆は讚へ絶叫  
 の威勢は何處にやら消え失 するは蓋し當然の輿論であ  
 せて終つたらうに、遠山 氏らましか故に吾人は倍々遠  
 の經營せる武藏鐵工場は 此山氏の社會的活躍と貢獻  
 の中に超然昔日の世界好 景希望する所以である

### 齒科佐藤武之氏

常磐線齒科醫界に於て衆目 の見所、人格の最高なる

磐城炭礦株式會社指定商

#### 片寄裕弘商店

内郷村御山

#### 籠倉醫院

陶器類鐵筋コンクリート

#### 森下安吉商店

平町胡摩澤

#### 久保田パン製造元

主 久保田 六五郎

町 電 六八四

#### 實業家 山崎清三氏

石城郡の最高人格と徳望を性が最大に有つばかりでな  
 全身に有する平山崎家の若く、平素の徳望多量なり社  
 元來商人なるものは信用をして大に考慮すべきである  
 基礎として營業をいとなむじかるに平町一丁目綿製

#### 實業家 野上龜太郎氏

田師は昨年末より平に居住の復興に昂め且つ民衆の斯  
 して地方文化の根本教育に 教に對する黎明意識を喚  
 極力努めてをらるゝことは せしめるべく、心神共に挺  
 本郡民の甚だ慶賀とする として日夜勤められてをる

#### 町政攪亂の常習

本改善を計るには、  
 三郎氏も亦聰兄を凌ぐ名聲  
 噴々  
 山野邊庄吉氏……平陽新  
 聞界の新曹たる氏は常に穩

(三面に續く)

氏こそ、將來の本縣長者議  
員の新人として頭角を東北  
政界に出づること近きにあ  
る。實に守次氏の全性格は常警線平に於ける杏林界中技術は更なり其の人格圓滿大正年間中、彼の歐洲大戦好況時代に於いて全國の工

武藏鐵工所主  
遠山稻吉氏  
齒科佐藤武之氏

馬を要して筆を茲に絶つ  
(三面に續く)

### 實業家 山崎清三氏

石城郡の最高人格と徳望を性最大に有つばかりでな  
全身に有す平町山崎家の若  
き柱石たる山崎清三氏この  
郷土の典型的人物であり、  
將來に於ける大人物として  
信用自他共に許す氏は過般  
平銀行最後の處決責任を岳  
父に献言して断行した、悲  
壯な行爲は、郷土經濟救済  
上政策上偉大な功績であり  
一家一身を犠牲にした大美  
譽である。

### 實業家 野上龜太郎氏

元來商人なるものは信用を  
基礎として營業をいとなむ  
事が必要條件である、然る  
に平の商人の全てとは申し  
ぬがその多くは營業を政策  
本位に嘘八百を並べたり粗  
疑の取引をしたり粗悪なる  
製品を高價に賣付けて暴利  
をむさばり一時的ヨタの營  
業法をなして世に恥じざ

### 實業家 野上龜太郎氏

平町現在の請負者は概して  
政治的思想及び運動を旺盛  
に有つてゐるの何より欣爲  
ぶ傾向である、殊に佐々木  
氏の如きは實際の政治方面  
に活躍し、其の實際運動振  
り注目する所にて同黨の大  
御所鈴木三郎氏の帷幄中を  
氏は其の尤一の智謀者であ  
り又將來鈴木氏等の後を追  
う大人物である。佐々木氏  
は平素濱三郡地方の土木事  
業請負者として衆を抜き且  
つ身境激忙にあるにもか

### 實業家 野上龜太郎氏

本改善を計るには  
町政攪乱の常習  
犯町費乱費の發  
頭人愚劣低能の  
不徳漢

### 實業家 野上龜太郎氏

三郎氏も亦聰兄を凌ぐ名聲  
噴々  
△山野邊庄吉氏……平陽新  
聞界の新曹たる氏は常に穩  
健公正の筆陳を持してを  
所に人格あり  
△鈴木辰三郎氏……磐城政  
界の超人石城社會に於け  
頭山滿の如き御大は近々氏  
を中心にして磐城雄辯大會を起  
實に紳士の面目に缺く不  
兒を神聖なる町會議場に送  
らない事と来るべき町議改  
選期に臨み斯様な者が湯本  
町議に乗出す傾向あれば湯  
本町政を危機に導くもので  
あれば根本より排撃すべき  
である、湯本町治の圓滿と  
平和を期すには湯本町民の  
自覺によるもので善良なる  
議員を多く作ることにあり  
湯本町民愛町の士！憤然起  
つて湯本町政浄化に猛進せ  
よ来るべき町議改選の人選  
を誤るなかれ！

### 自動車業 三井富吉氏

最近平町を中心として文化  
の魁たる自動車業は益々其  
の營業者を増し隨て乗車の  
需用激甚を極め、同時に所  
謂自動車の故障も可成頻出  
する折柄茲に獨り好間平間  
の運轉權利と信用を有して  
作氏を扶け、種々平町政に  
をもの三井氏の經營する  
商店の自動車部である。常  
に高級車を使用し、未だ一  
回の人事的故障も發生せず  
客本意に營業してをるのは  
地方人一般に認める所であ  
る。

### 土木請負業 佐々木健一郎氏

平町現在の請負者は概して  
政治的思想及び運動を旺盛  
に有つてゐるの何より欣爲  
ぶ傾向である、殊に佐々木  
氏の如きは實際の政治方面  
に活躍し、其の實際運動振  
り注目する所にて同黨の大  
御所鈴木三郎氏の帷幄中を  
氏は其の尤一の智謀者であ  
り又將來鈴木氏等の後を追  
う大人物である。佐々木氏  
は平素濱三郡地方の土木事  
業請負者として衆を抜き且  
つ身境激忙にあるにもか

### 湯本町政刷新の爲に

世人周知の通り難治町とし  
て縣下に有名なる湯本町は  
最近小泉三代喜氏町長の下  
に多少鳴を鎮めた形である  
に多少鳴を鎮めた形である  
に多少鳴を鎮めた形である

### 眞に愛町の新人を出せ

世人周知の通り難治町とし  
て縣下に有名なる湯本町は  
最近小泉三代喜氏町長の下  
に多少鳴を鎮めた形である  
に多少鳴を鎮めた形である  
に多少鳴を鎮めた形である

### 知人消息

△草野順平氏……磐城の  
人、磐銀休業以來、其回復  
策に西奔東走、近く開業す  
る由。  
△大和田與平氏、平町議と  
して磐陽の操縦界を代表し  
て、敢然出馬するとかせぬ  
とかで考慮中  
△諸橋守次氏……大釜屋の  
若主人で本縣財界第一  
長として賞讃されつゝある

### 平聖公會の近況

平聖公會は、常磐地方に於  
ける其の精神創造界の一大  
治氏に更りて來任したる村  
易にゴタ／＼の種は盡きぬ  
自治体である。故に此の根

### 村田俊雄師の誠躍

平町以上の三氏の協力苦心  
の協心苦心の協心苦心の協  
心苦心の協心苦心の協心苦  
心苦心の協心苦心の協心苦  
心苦心の協心苦心の協心苦

### 眞に愛町の新人を出せ

世人周知の通り難治町とし  
て縣下に有名なる湯本町は  
最近小泉三代喜氏町長の下  
に多少鳴を鎮めた形である  
に多少鳴を鎮めた形である  
に多少鳴を鎮めた形である

### 眞に愛町の新人を出せ

世人周知の通り難治町とし  
て縣下に有名なる湯本町は  
最近小泉三代喜氏町長の下  
に多少鳴を鎮めた形である  
に多少鳴を鎮めた形である  
に多少鳴を鎮めた形である

### 眞に愛町の新人を出せ

世人周知の通り難治町とし  
て縣下に有名なる湯本町は  
最近小泉三代喜氏町長の下  
に多少鳴を鎮めた形である  
に多少鳴を鎮めた形である  
に多少鳴を鎮めた形である

### 募集

文藝其他投稿  
を募集します

### 募集

文藝其他投稿  
を募集します

### 募集

文藝其他投稿  
を募集します

### 募集

文藝其他投稿  
を募集します

### 募集

文藝其他投稿  
を募集します

梅崎安由 平町	阿部唯次郎 平町	大黒屋勝次郎 平町	遠藤市松 平町	大一屋商店 電話二三番	西村屋藥店 電話四番	吉田三郎 平新川町	中川製材所
藤井正芳 平城山	鈴木鐵工所 平白銀町	桑原整骨院 平町公園内	丸山組事務所 土木建築請負業	江口忠一 請負業 平町	松本勇平 請負業 平窪村	永山材木店 平古銀治町	玉川屋酒店 平紺屋町
高木源治 精米所 好間村	山崎佐市郎 内郷村	磐城自動車會 平材木町	星野庸治	建物株式會社 警城 平五丁目	福島縣農工銀行 平支店	額賀廣治	松崎長三郎 平新川町 電話二七二番
佐藤藤助 材木店 平新川町	中野洋品店 電話五三番	梅津文助 材木店 平六丁目(電話三二二)	阿部治作 平鎌田町	昭和タクシ 高級自動車、乗合、貸切 平停車場前(澤正)	鵜沼又一 司法代書事務所 平八幡小路	遠藤松之助 平長橋町 電話五一二番	諸橋カク 平町
柴田正則 警崎尋常小學校長	西本田屋 酒釀造元 警崎村	大和屋商店 湯本町 電話百六番	酒井賢吾 警崎村助役	龍勝寺 警崎村	圓谷酒店 湯本町停車場前	小野忠三 湯本町町會議員	米商松本正夫 湯本町右畑 電話七十一番
丸正運送店 湯本町	八幡屋 旅館 平町 電話三〇八番	大野寫真館 平仲田町	大谷要次郎 米商志村商店 平古鍛冶町	薄硝子製造所 内郷村小島 薄源次郎	澁澤組 内郷村宮	越中家 御料理 内郷村宮	宮子亭 御料理 内郷村宮
山口家 御料理 内郷村宮	佐藤三郎 川前村長	山崎武頼 商業副組合長 湯本町	遠藤義一 木炭問屋 植田町	北野家 御料理 江名町	大森屋 御料理 江名町	玉屋洋品店 平田町 電六五六	住吉屋本店 平町
榎田榮太郎 扇屋旅館	安藤支店 川前村	吉田市次 内郷村	若松幸藏 湯本町	湯本運送株式會社	湯本藝妓屋 組合	善方長作 小名濱町	新若米竹 小名濱

鈴木八幸物店 坂田藤助  
大谷久藏 佐藤鐵工所

小名濱町 小名彥町  
小名彥雄

佐川洋服店

營業部  
本店

阿部材木店  
電話八四〇番

強口唯七郎  
請負業

赤羽鐵太郎  
平町北目

安成山憲行求

共稅郵價定日行發  
每月十五日一日  
一ヶ月金二十  
一ヶ年分金二  
一ヶ年分金二  
一ヶ年分金二  
一ヶ年分金二

政治は郷土人全體の運動に  
依つものなれば、學者も、  
實業家も、商人も工場人も  
教師も新聞記者も、辯護士  
も請負人も炭礦労働人も一

花澤文庫  
大柴尊二  
白井一郎  
佐々木龍若

土木建築請負業

大平又一